

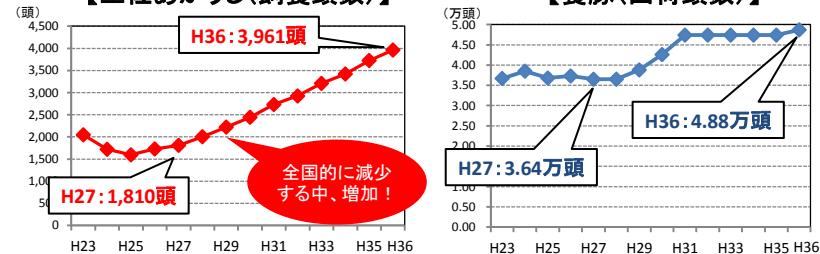
# 提言 畜産クラスター形成に必要な予算確保と産地食肉センター整備への支援

## 「攻めの畜産」の戦略

【第3期高知県産業振興計画による取組】

【土佐あかうし(飼養頭数)】

【養豚(出荷頭数)】



小規模産地ながらも  
意欲ある生産者の規模拡大や  
生産拠点整備を推進

生産体制の強化

出荷数の増加

加工体制の強化

食肉加工による高付加価値化

販売体制の強化

ブランド力強化・所得向上

担い手の確保

新規就農者の確保、雇用の創出

畜産の好循環!

規模拡大

畜産の好循環!

### ◆県内の食肉センターが廃止、県外出荷の場合

- 生産者の輸送費等の負担増
- 輸送に伴う、品質低下による枝肉価格の低下の恐れ 等  
→廃業の加速化、増頭意欲の低下!

県内経済の活性化、雇用創出  
中山間地域を守るために

産地や消費地に近い場所(県内)に、  
小規模でも食肉センターが必要!

## 提言1

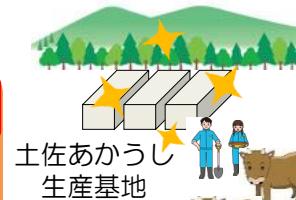
### ◆畜産クラスター事業における十分な予算の確保

政策提言  
の理由

- ・来年度以降も事業ニーズあり
- ・中長期的な事業の継続が必要  
(施設整備に必要な土地の取得や造成には数年の期間が必要)

## 政策提言

◎施設整備等に必要な予算の十分な確保を行い、事業実施を少なくとも10年以上は継続することを提言します。

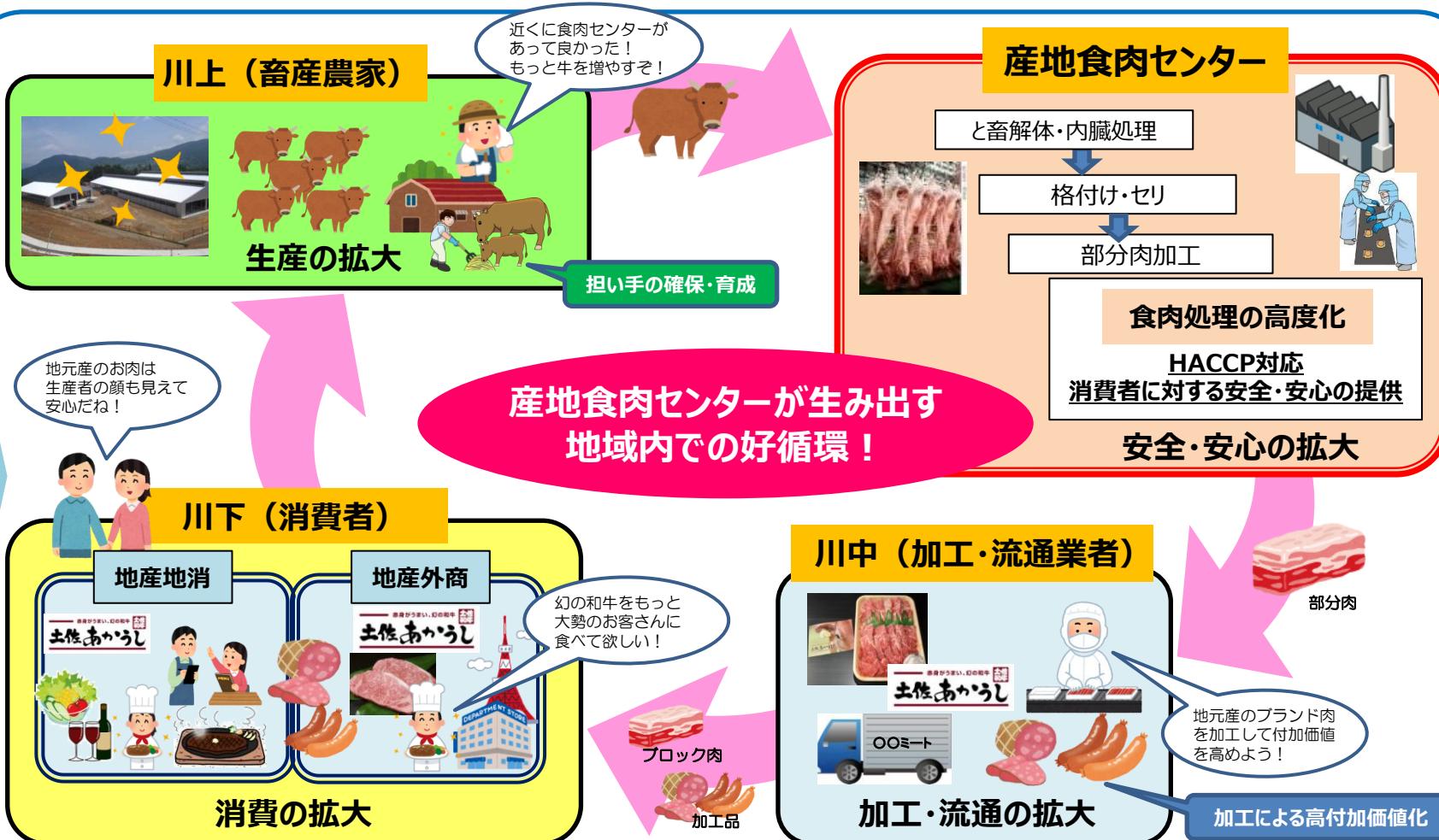


土佐あかうし  
生産基地

## 提言2

### ◆産地食肉センター整備への支援

好循環による拡大再生産の実現へ!



近くに食肉センターがないと畜産クラスターができないな・・・

近くに食肉センターがあって良かった! もっと牛を増やすぞ!

地元産のお肉は生産者の顔も見えて安心だね!

産地食肉センターが生ま出す  
地域内での好循環!

幻の和牛をもっと大勢のお客さんに食べて欲しい!

地元産のブランド肉を加工して付加価値を高めよう!

政策提言  
の理由

- 【産地食肉センターの補助対象基準(強い農業づくり交付金)】
- ・1日当たりの処理能力が概ね700頭以上(豚換算頭数)
  - ・知事特認においても「離島」「ハラール認証取得」に限定

## 政策提言

◎土佐あかうしなど、地域で生産された畜産物を処理する産地食肉センターの整備に対しては、処理規模にかかわらず支援を実施することを提言します。